

あ
翔

あめつちほしそらやまかはみねたに
くもきりむろこけひといぬうへすゑ
アメツチホシソラヤマカハミネタニ
クモキリムロコケヒトイヌウヘスエ
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末
安以宇衣於加幾久計己左之寸世曾太
ABCDEFGHIJKabcdefghijkl0123456789,!?*

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発
上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんや
り発車の笛を待っていた。とうに電燈の
ついた客車の中には、珍らしく私の外に
一人も乗客はいなかった。外を覗くと、
うす暗いプラットフォームにも、今日は
珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、唯、
檻に入れられた小犬が一匹、時々悲しそ

28Q / 36H

或曇った冬の日暮である。私は横須
賀発上り二等客車の隅に腰を下して、
ぼんやり発車の笛を待っていた。と

20Q / 28H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等
客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待っ
ていた。とうに電燈のついた客車の中には、珍ら
しく私の外に一人も乗客はいなかった。外を覗く
と、うす暗いプラットフォームにも、今日は珍し
く見送りの人影さえ跡を絶って、唯、檻に入れら

或曇った冬の日暮である。私
は横須賀発上り二等客車の隅
に腰を下して、ぼんやり発車
の笛を待っていた。とうに電
燈のついた客車の中には、珍
らしく私の外に一人も乗客は
いなかった。外を覗くと、う

或曇った冬の日暮である。
私は横須賀発上り二等客
車の隅に腰を下して、ぼ
んやり発車の笛を待って

16Q / 24H

或曇った冬の日暮である。私
は横須賀発上り二等客車の隅
に腰を下して、ぼんやり発車
の笛を待っていた。とうに電
燈のついた客車の中には、珍
らしく私の外に一人も乗客は
いなかった。外を覗くと、う
す暗いプラットフォームにも、